

令和4年度 水産業強化支援事業事後評価結果

長崎県水産部水産経営課

政策目的	水産業経営の強化	
政策目標	経営構造改善目標	
事業実施主体	九十九島漁業協同組合	
実施地区名	佐世保市小佐々町矢岳地区	
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度
	令和4年度	令和6年度
交付金額	38,390,000円	
事業計画の内容	外壁交換及び防壁強化工事一式 冷却設備他一式 冷凍機 30kW×3基（新冷媒 R448A） キュービクル設置	
評価	成果目標	煮干製品入庫数
	現状値 (A)	(令和6年度末時点) 煮干製品入庫数 ●●●●●個 対目標値【=A/B×100】89% (令和5年度実績 ●●●●●個)
	目標値 (B)	(令和6年度末) 煮干製品入庫数 ●●●●●個
	(1) 現状値の説明	○冷凍機2機から各室1機計3機にしたことの効果 ・現状値個数については、当組合のシステムにより管理し、年間の煮干（8kg）入庫の個数を記載。 ・令和5年度実績では、既に成果目標値を達成しており、冷凍機を整備したことによる効果がすぐに発揮された。 ・令和6年度の入庫数減は、煮干原料のカタクチイワシ漁獲量が大幅に減少したことによるもの。 ・直近の状況として、令和6年に入り、煮干原料であるカタクチイワシの漁獲量が大幅に減少。それに代わってマイワシの漁獲が増加傾向にあるが、マイワシについては幼魚時の魚体であれば煮干加工も行うが、魚体の成長が早く、成魚になるとボイラーでの乾燥等、完成品までのコストが大きく利益率が悪いいため、成魚は餌料として水揚されることが多い。 ・また、煮干原料としてはカタクチイワシの方が高値で、需要もある。 ・保管庫（冷凍庫）へ入庫されるのは、煮干しに加工された

	<p>後の未選別の煮干しが主体である（選別後に出荷。未選別の煮干しは単価が下がる）。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度は、カタクチイワシとマイワシの混獲が多く、両種の混ざりものの煮干し在庫数が多かった（カタクチイワシとマイワシを合わせた漁獲量は、令和5年度が直近5ヶ年で最も多かった）。 令和6年度は、マイワシ単一での漁獲が多く、選別が不要な煮干しが主体で、保管庫への在庫されることなく出荷された物が多かった。 このため煮干製品在庫数が大幅に減ったものである。
(2) 地域への経済効果(ハード事業のみ)	<p>冷凍能力強化により保管数量が増加し、利用者の利便性の向上および所得向上が図られた。</p> <p>○九十九島漁協煮干売上額（聞き取り）</p> <p>R4年煮干売上額●●●●●●●●千円</p> <p>R5年煮干売上額●●●●●●●●千円</p>
(3) 資源管理の取組状況等(ハード事業のみ)	<p>煮干原料については中型まき網漁業での漁獲が主体となっており、同漁業者については長崎県北部海区資源管理協定に参画している。現在も設定した休漁日を厳守し資源管理に取り組んでいるため持続的な漁業が可能と思われる。</p>
(4) 所見	<p>当該施設は令和5年度から共用開始され、計画通り煮干しの在庫が進み、令和5年度において、すぐに成果目標を達成した。しかしながら、これまで比較的安定して漁獲されていた煮干原料のカタクチイワシの不漁により、令和6年度は成果目標を下回ってしまった。今後、カタクチイワシの漁獲量が再び回復すれば令和5年度のように成果目標を十分達成できる見込みである。</p>
(5) 評価機関の意見等	
今後の改善方向等に関する分析	<p>今後、カタクチイワシの漁獲が回復すれば、煮干製品の在庫数が増加すると見込まれる。</p>